

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和04年10月25日

計画の名称	小田原城下町地区における街なみ環境の向上 期												
計画の期間	平成28年度 ~ 令和02年度 (5年間)								重点配分対象の該当				
交付対象	小田原市												
計画の目標	歴史的なまちなみとそれを結ぶルートを整備するなど、歴史文化やなりわいが感じられ、ホスピタリティあふれる街なみを形成し、地区を安心して訪れ、集い、憩い、交流する人々の姿が生き活きと映える、賑わいあるまちを目指す。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	576	A	547	B	0	C	29	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	5.03	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H28当初)	中間目標値 (H30末)	最終目標値 (R2末)
1	事業地区内における修景整備件数を18件(H28)から38件(R2末)に増加 修景整備件数 事業地区内における建築物、建築設備、看板等の修景整備件数を調査する。	18件	件	38件
2	観光交流の拠点に位置付けている清閑亭、松永記念館、小田原文学館の利用者数を54,777人/年から56,748人/年に増加 利用者数 清閑亭、松永記念館、小田原文学館の利用者数の合計値	54777人/年	人/年	56748人/年

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業																				
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H28	H29	H30	H31	R02				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
住環境整備事業	A16-001	住宅	一般	小田原市	直接	市	-	-	小田原城城下町地区 街 なみ環境整備事業	小公園・広場・緑地等整備、 通路整備、案内板等整備、測 量・調査設計、歴史的風致形 成建造物整備	小田原市						518		-	
	A16-002	住宅	一般	小田原市	間接	民間	-	-	小田原城城下町地区 街 なみ環境整備事業	歴史的風致形成建造物整備助 成、建築物等修景整備助成	小田原市							29		-
											小計						547			
											合計						547			

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
<p>・本整備計画の交付対象事業を含む、小田原市歴史的風致維持向上計画に位置付けた事業については、歴史まちづくり法に則り、毎年度、本市の附属機関である「小田原市歴史まちづくり協議会」に意見聴取したうえで進行管理・評価を実施している。</p> <p>・本整備計画の事後評価については、上記を踏まえ、「小田原市社会資本総合整備計画に関する評価実施要領」に基づき実施した。</p>	令和4年（2022年）
	公表の方法
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<p>【定量的指標 修景整備件数】 良好な景観形成や歴史的風致形成建造物の指定等に係る周知・啓発により、13件の修景整備を実施することができており、事業地区内の良好な街なみ形成に寄与するものとなった。</p> <p>【定量的指標 利用者数】 街なかの回遊や交流の拠点となる歴史的風致形成建造物の整備活用やその周辺の散策路・回遊路の整備、各拠点を結び回遊ルート上の案内板設置等を進めたことにより、平成28～30年度においては、目標値を超える利用者数（年平均60,646人）となっており、また、令和元年度以降も継続的な事業展開を進めたことで、事業地区内の賑わい創出が図られた。</p>
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	<p>・松永記念館については、施設改修や庭園整備等により、市民ボランティアによる定期的な呈茶や、地域住民等と連携したイベント開催等の活用が進み、別邸文化の発信や板橋地区におけるまち歩きの拠点として歴史的風致の維持向上に寄与している。</p> <p>・交付対象事業を含む、本市の歴史まちづくりに資する事業の実施等を契機として、事業地区内において民間団体や地域住民、事業者が主体となった歴史的な街なみの保存活用に係る取組が実施されるなど、歴史まちづくりに対する意識が醸成されつつある。</p>
特記事項（今後の方針等）	
<p>・旧松本剛吉別邸や皆春荘、小田原文学館、小田原宿なりわい交流館等の歴史的風致形成建造物については、建築物や庭園等の整備を進める。</p> <p>・整備と併せ、歴史的風致形成建造物の利活用を進め、街なかの回遊や交流の拠点として観光施策とも連携を図る。</p> <p>・民間の施設修景整備や歴史的風致形成建造物の整備助成、案内板の設置、マップ作成等を進め、点から線、線から面へと連なる良好な街なみ形成に取り組む。</p>	

目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因	
1	修景整備件数		
	最終目標値	38件	事業主体が個人や民間企業のため予算の都合やコロナ禍による事業の中止等により、修景整備が実施されないケースがあり、目標値に至らなかった。
	最終実績値	31件	
2	利用者数		
	最終目標値	56748人/年	令和元年度以降は、コロナ禍や施設の改修工事に伴う休館等により、目標値と実績値に差が出た要因となったが、平成28～30年度においては、年平均60,646人の利用者数となり、目標を達成している。
	最終実績値	12846人/年	

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和04年10月25日

計画の名称	小田原城下町地区における街なみ環境の向上 期（期間延長）												
計画の期間	令和03年度 ~ 令和03年度（1年間）								重点配分対象の該当				
交付対象	小田原市												
計画の目標	歴史的なまちなみとそれを結ぶルートを整備するなど、歴史文化やなりわいが感じられ、ホスピタリティあふれる街なみを形成し、地区を安心して訪れ、集い、憩い、交流する人々の姿が生き活きと映える、賑わいあるまちを目指す。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	21	A	20	B	0	C	1	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	4.76	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
1	事業地区内における修景整備件数を18件（H28）から38件（R3末）に増加 修景整備件数 事業地区内における建築物、建築設備、看板等の修景整備件数を調査する。	H28 18件	件	R3 38件
2	観光交流の拠点に位置付けている清閑亭、松永記念館、小田原文学館の利用者数を54,777人／年から56,748人／年に増加 利用者数 清閑亭、松永記念館、小田原文学館の利用者数の合計値	54777人／年	人／年	56748人／年

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業																			
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R03	R04	R05	R06	R07			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
住環境整備事業	A16-001	住宅	一般	小田原市	直接	市	-	-	小田原城下町地区 街 なみ環境整備事業	歴史的風致形成建造物整備(測量・調査)、案内板等整備	小田原市						18	-	
	A16-002	住宅	一般	小田原市	間接	民間	-	-	小田原城下町地区 街 なみ環境整備事業	歴史的風致形成建造物整備助成、建築物等修景整備助成	小田原市						2	-	
												小計						20	
												合計						20	

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
<p>本整備計画の交付対象事業を含む、小田原市歴史的風致維持向上計画に位置付けた事業については、歴史まちづくり法に則り、毎年度、本市の附属機関である「小田原市歴史まちづくり協議会」に意見聴取したうえで、進行管理・評価を実施している。</p> <p>本計画の事後評価については、上記を踏まえ、「小田原市社会資本総合整備計画に関する評価実施要領」に基づき実施した。</p>	令和4年（2022年）
	公表の方法
事業効果の発現状況	
<p>定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況</p>	<p>【定量的指標 修景整備件数】 良好な景観形成や歴史的風致形成建造物の指定等に係る周知・啓発により、14件の修景整備を実施することができており、事業地区内の良好な街なみ形成に寄与するものとなった。</p> <p>【定量的指標 利用者数】 街なかの回遊や交流の拠点となる歴史的風致形成建造物の整備活用やその周辺の散策路・回遊路の整備、各拠点を結び回遊ルート上の案内板設置等を進めたことにより、平成28～30年度においては、目標値を超える利用者数（年平均60,646人）となっており、また、令和元年度以降も継続的な事業展開を進めたことで、事業地区内の賑わい創出が図られた。</p>
<p>定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・松永記念館については、施設改修や庭園整備等により、市民ボランティアによる定期的な呈茶や、地域住民等と連携したイベント開催等の活用が進み、別邸文化の発信や板橋地区におけるまち歩きの拠点として歴史的風致の維持向上に寄与している。 ・また、交付対象事業を含む、本市の歴史まちづくりに資する事業の実施等を契機として、事業地区内において民間団体や地域住民、事業者が主体となった歴史的な街なみの保存活用に係る取組が実施されるなど、歴史まちづくりに対する意識が醸成されつつある。
特記事項（今後の方針等）	
<ul style="list-style-type: none"> ・旧松本剛吉別邸や皆春荘、小田原文学館、小田原宿なりわい交流館等の歴史的風致形成建造物については、建築物や庭園等の整備を進める。 ・整備と併せ、歴史的風致形成建造物の利活用を進め、街なかの回遊や交流の拠点として観光施策とも連携を図る。 ・民間の施設修景整備や歴史的風致形成建造物の整備助成、案内板の設置、マップ作成等を進め、点から線、線から面へと連なる良好な街なみ形成に取り組む。 	

目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因	
1	修景整備件数		
	最終目標値	38件	事業主体が個人や民間企業のため予算の都合やコロナ禍による事業の中止等により、修景整備が実施されないケースがあり、目標値に至らなかった。
	最終実績値	32件	
2	利用者数		
	最終目標値	56748人 / 年	令和元年度以降は、コロナ禍や施設の改修工事に伴う休館等により、目標値と実績値に差が出た要因となったが、平成28～30年度においては、年平均60,646人の利用者数となり、目標を達成している。
	最終実績値	35369人 / 年	

参考図面（社会資本整備総合交付金）

計画の名称	小田原城下町地区における街なみ環境の向上 II期	交付対象	小田原市
計画の期間	平成28年度 ～ 令和3年度（6年間）		

